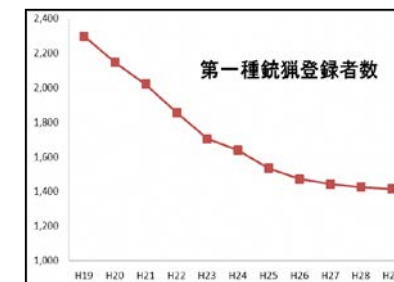
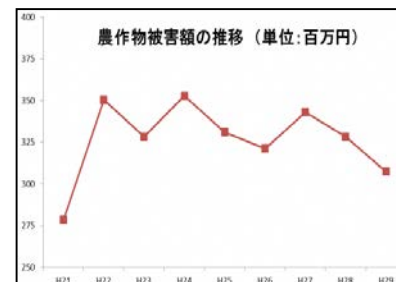


# 新規狩猟者の確保・育成の取組 ～ 未取得者から経験者まで 段階にあわせた各研修会の開催 ～

## 【和歌山県の課題】

- 野生鳥獣による県内の農作物被害額は、8年連続で3億円を上回っており、依然として深刻な問題が続いている。
- 有害鳥獣の捕獲を重点として対策を行っているが、狩猟者（特に銃猟者）は減少傾向にあり、また高齢化も進んでいる。
- 捕獲の担い手である狩猟者の数を維持・増加するためには、新規狩猟者の確保・育成は喫緊の課題である。



## 【主な取組（事例紹介）】

### ①狩猟の魅力研修会（H25～）

現役で活躍する狩猟者の講演・体験談や、狩猟で得られる産物の活用、猟銃（模擬銃）の使い方の実演などを通じて、狩猟そのものの周知と、狩猟の魅力を感じてもらおう研修会を毎年開催。

### ②狩猟体験研修会（H28～）

銃猟者のイノシシやキジ・カモ猟に同行・見学、獲物の解体・試食を体験。銃猟の緊張感やそのルール・マナー等を体験することで、より一層狩猟に興味をもってもらうことを目的として、毎年県内各地で8回程度開催。

### ③わな捕獲技術向上研修会（H23～）

新規にわな免許を取得した者・わなでの捕獲技術向上を志す者を対象に、野生鳥獣の生態や捕獲に関する専門的な知識・技術を有する講師による、基礎知識を学ぶ座学研修と園地での実践的な技術を習得する実地研修を、毎年県内7箇所で開催。



狩猟の魅力研修会



狩猟体験研修会



わな捕獲技術向上研修会

## 【取組の効果と今後の取組】

- 平成25年度から新規第一種銃猟及びわな猟の免許取得者が増加している。
- それに伴って、狩猟者登録者数が、わな猟では大きく増加している。
- 各種研修会が、狩猟者の確保・育成に成果を上げている。

参加者と猟友会員の交流が生まれたことで、登録者数の増加に繋がったと考えられる。今後は、さらなる狩猟者確保に向けて、研修の内容拡充・新規設立を行う予定である。

